

中央町内会 十和田地固め唄

十和田の地は、新渡戸傳翁の稲生川上水事業により、実り豊かな大地に生まれ変わりました。建設機械も無い当時は、人力に頼る処が多く想像以上の苦労を伴うものであったと推察されます。そのような過酷な労働のなか、何らかの唄（労働唄）を歌いながら作業をしていたのではないかと、私達は考えました。

150年もの年月を経た現在、十和田には当時から歌い継がれているものはありません。そこで、新渡戸家の故郷である花巻市の方々に問い合わせたところ、利根川をはじめ全国各地の水利事業で江戸の時代より歌い継がれる「地固め唄」（どんづき唄）の流れを汲む唄が残っていることが、分かりました。稲生川上水事業でも、新渡戸傳翁と共に花巻から来られた職人集がこの唄を歌っていたと考えられます。

私達は数少ない花巻地固め唄の伝承者、大工棟梁原氏よりこの唄の節回しを頂戴して参りました。その節回しに十和田の生い立ちからお祭りに至までの経緯を歌詞にし、稲生川疎水150年の節目の年に再現いたします。

こらえ～	新渡戸傳様	や～あんせ～	あ～やっこせ～のよ～いとな～
あ～	新渡戸傳様、穴掘り水引いた～	え～さえ～	ヨイヨイ
あ～りやりや	あれはさ	どっこい	よ～いとこよ～いとこな～
こらえ～	稲生川は	や～あんせ～	あ～やっこせ～のよ～いとな～
あ～	稲生川は、命の水だよ～	え～さえ～	ヨイヨイ
あ～りやりや	あれはさ	どっこい	よ～いとこよ～いとこな～
こらえ～	太素の杜から	や～あんせ～	あ～やっこせ～のよ～いとな～
あ～	太素の杜から見渡しゃ、穂の波よ～	え～さえ～	ヨイヨイ
あ～りやりや	あれはさ	どっこい	よ～いとこよ～いとこな～
こらえ～	米倉十和田は	や～あんせ～	あ～やっこせ～のよ～いとな～
あ～	米倉十和田は、祭りの都だよ～	え～さえ～	ヨイヨイ
あ～りやりや	あれはさ	どっこい	よ～いとこよ～いとこな～
こらえ～	祭りが始まる	や～あんせ～	あ～やっこせ～のよ～いとな～
あ～	祭りが始まる、お囃子聞こえるよ～	え～さえ～	ヨイヨイ
あ～りやりや	あれはさ	どっこい	よ～いとこよ～いとこな～
こらえ～	祭りの華は	や～あんせ～	あ～やっこせ～のよ～いとな～
あ～	祭りの華は、わ組の心意気	え～さえ～	ヨイヨイ
あ～りやりや	あれはさ	どっこい	よ～いとこよ～いとこな～

作詞：中央町内会会長 三浦芳靖

編集：中央町内会 わ組